八月も中旬を過ぎ、炎暑の季節も過ぎ去りました。暑い中でのかん水、日覆、そして除草などの作業が続き、植物の生命を維持するだけでも大変なことでした。

この夏、サギの羽を広げたような独特の姿をした純白のサギソウの花が、一抹の涼味を与えてくれました。花時もまちまちで、七月下旬から八月下旬まで見られます。

花後はとかく手入れがおろそかになりがちです。来年も楽しむには、これからの管理の手を抜かないようにすることが大切です。花が終わると地上部の生育はとまりますが、地下部の球根は、開花時からふくらみはじめて、秋の枯葉期までどんどん育ってゆきます。健全な地上部をもった株には充実した立派な球根が着生しますから、葉はなるべく長く、枯らさないように育てます。

花が終わってからも乾燥させないようにすることはもちろんですが、二～三回くらい、うすい液肥（千倍くらい）を施します。こうして管理してゆきますと、枯葉期には二～三倍の数の充実した球根ができます。

（園芸センター）

園芸講座

サギソウの花後

ハルピン市副市長は

料理の上手なお母さん

友好都市の中国・ハルピン市（人口三百六十万人）から、女性副市長の秦月芳（チン・ユエファン）さん（54）を団長とする「友好代表団」の一行五人が六日、新潟市を訪れました。一行は、音楽文化会館、有明福祉タウン、市民病院、農家、一般家庭――などを見学したほか、新潟まつりも楽しみ、友好を深めて、十一日新潟を立ちました。この友好代表団の秦団長に、家庭生活を中心にインタビューしました。通訳は、今回の代表団の一員で、昭和五十五年六月から一年間、新潟市に日本語の勉強のために留学していた曲奇（チュ・チ）さん（22）にお願いしました。

秦（チン） 月芳（ユエファン）さん（54）

秦月芳さんが黒龍江省の省都・ハルピン市の副市長に当選したのは、一九八一年六月。以来、五人の副市長のうちの一人として、教育・文化関係に活躍しています。

中国では、あらゆる分野に女性が進出しており、黒龍江省でも十二ある市のうち、五市に女性副市長がいます。

ハルピン市副市長の秦月芳さん

結婚して35年 夫婦げんかなし

話が家族のことに移ると、顔をほころばせ、手ぶりや身ぶりも交えて説明してくれました。

「結婚したのは中華人民共和国建国の年の一九四九年ですから、今年で満三十五年です。お互いに尊敬し、愛し合っており、けんかをしたことはありません。子供は、息子（22）と娘（23）の二人で、それぞれ一人ずつ男の子がいます」

食事の支度は朝は妻、晩は夫

中国では、男性もよく食事の支度をするそうです。副市長のお宅も例外ではありません。

「夕方、夫は割と時間があるので、夕飯を作ってくれます。朝は私が作ります」

秦さんの得意料理を尋ねたら、笑いながら教えてくれました。

「前菜は、皆さんにおいしい と言われます。魚や肉料理も得意です。日曜日には子供たちの家族や友達のために、十数品の料理を作って招待します」

歌を歌ったり、本を読んだり、家事をするのが趣味の秦さんは、料理の上手なお母さんです。

新潟の女性へメッセージ

最後に、女性副市長に新潟市の女性への メッセージをお願いしました。

ハルピン市と新潟市の女性たちは、ぜひとも団結し、中日両国の友情を深め、次代の教育に力を入れ、子子孫孫に渡る友好と両国人民の大事業を発展させ、世界平和を守るよう努力しましょう

生きぎき 67万時間 ⑨

生涯教育・市民の意識調査から…

学ぶ喜びを育てる

女池小学校の石部先生は、野鳥の研究家で、日本野鳥の会、日本鳥学会の会員です。春、秋の休日には渡鳥の観察に海岸へ、冬はガン・カモ・ハクチョウなどの探鳥に佐渡、鳥屋野潟へ望遠鏡をかついで出かけます。

その時、必ずといっていいほど子供たちがついていきます。子供に絶大な人気のある若い男の先生です。

子供たちは、先生の鳥についての知識もさることながら、研究する先生の姿に魅力を感じているようです。実際、鳥を真剣に追い求めている先生と子供の姿には、一種の感動さえ覚えます。

「先生は子供の時から鳥に興味がありましたか」と聞いてみました。

「そうではないんです。私に、鳥だけでなく植物や魚などに対する興味や研究心を与えてくれたのは、小学生の時の担任、市村先生なんです。私は、東蒲原の学習する心が、育つわけではありません。現に私がそうでした。ところが、担任の市村先生は、山や河原、お寺などに連れて行き、今まで気付かずにいたイワウチハや山椒魚、変わった魚、お寺の由来など身近なものについて研究することの楽しさや驚き、深い喜びなどを体験させてくれました。それがきっかけです」と答えてくれました。

生涯学習は「学びたい」心から出発します。そのために、小学校や中学校で、自ら学ぶことの喜びを体験することが非常に大切です。

先生といっしょに鳥の研究をした子供たちには、きっとその喜びの体験が生きていくことでしょう。

（教育委員会社会教育課）

みる つくる 語る 美術館なんだかんだ……④

市民の皆さん、残暑御見舞申し上げます。

なお続く暑さの中、いま美術館は、隣接して造成整備中の西大畑公園との一体化を図り、順調に建設が進められ、オリーブ・グリーンの外壁をもつ重厚な建物が次第にその全容を現わしつつあります。

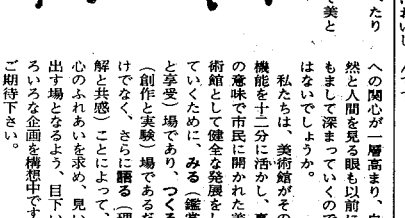
この建物の二階には、前回紹介した「つくる」場としての実習室のほかに、「語る」場として講堂が設けられています。開館時には、ここに百席前後のいす席が置かれ、講演会、座談会、映写会をはじめ、美術史や作家論などの講座が定期的に開かれることでしょう。

「美は沈黙している」とは、ある文学者の言葉です。ほんとうの美に触れると、感動のあまり言葉を失ってしまうものです。言葉で言い表わせるような美は底が浅いのかもしれません。にもかかわらず、私たちはこの沈黙に長い間堪えられず、その感動をだれかに伝えたいという衝動を押さえきれなくなってくるのです。自分が見た絵画や彫刻、工芸や書など芸術の美について、あるいは自然の美について品について感想を述べたりしたくなるものです。

こうして、みんなで美とその感動や印象を語り、また自分たちが創作した作品の出来ばえをだれかに批評してもらったり、他人の作

こんにちは準備室です　その4

「つくる」喜びから「語る」ふれあい



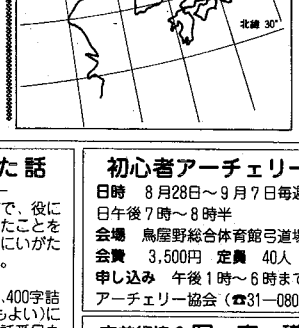
への関心が一層高まり、自然と人間を見る眼も以前にもまして深まっていくのではないでしょうか。

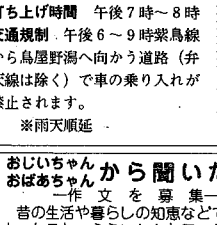
私たちは、美術館がその機能を十二分に活かし、真の意味で市民に開かれた美術館として健全な発展をしていくために、みる（鑑賞と享受）場であり、つくる（創作と実験）場であるだけでなく、さらに語る（理解と共感）ことによって、心のふれあいを求め、見い出す場となるよう、目下いろいろな企画を構想中です。ご期待下さい。

（美術館開設準備室）

芸術について語り、創作をめぐって語りあうことによって、お互いの心と心のふれあいが生まれ、美と芸術

ハルピンの位置図





8月21日は鳥屋野潟で

花火大会

打ち上げ時間　午後7時～8時

交通規制　午後6～9時紫鳥線から鳥屋野潟へ向かう道路（弁天線は除く）で車の乗り入れが禁止されます。

※雨天順延

おじいちゃん おばあちゃん から聞いた話

―作文を募集―

昔の生活や暮らしの知恵などで、役に立ったこと、えらいなあと思ったことを作文にしてお送り下さい。市報にいがたの「敬老の日」特集に載せます。

対象　市内の小・中学生

応募先　8月25日（必着）までに、400字詰め原稿用紙1枚程度（はがきでもよい）にまとめ住所、氏名、学校・学年、電話番号を明記し市広報課（〒951 西堀通6―866）へ

盲人用テレフォンサービス 電話帳を発行

視力障害をお持ちの人に、日常生活に役立つ点字電話帳（新潟電話局発行）を差し上げます。盲人福祉協会会員は協会から配布します。

申し込み　障害福祉課（市役所1階）へ

初心者アーチェリー教室

日時　8月28日～9月7日毎週火・金曜日午後7時～8時半

会場　鳥屋野総合体育館弓道場

会費　3,500円　**定員**　40人（先着順）

申し込み　午後1時～6時までの間に市アーチェリー協会（☎31―0807）へ

市美術協会写真講座

日時　9月4日～11月6日毎週火曜日午後6時～8時（計10回）

会場　鳥屋野地区公民館

定員　30人（先着順）　**経費**　実費負担

申し込み　往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、市社会教育課（〒951 上大川前通8―1260開公ビル内）へ

夏のおはなし会

日時　8月22日午後1時半～3時

会場　石山地区公民館（入場無料）

内容　「おじいさんのお嫁さん」「にげだしたパン」ほか

〝人生を変える話し方〟講座

―話しべたは―生の損―

日時　9月3日～10月22日毎週月曜日午後6時半～8時半

会場　中央公民館

対象　45人（市内在住の人）

申し込み　8月25日までに住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、返信用封筒（60円切手をはる）を同封の上、中央公民館「話し方講座」係（〒951 西堀通6）へ

勤労青少年ホーム講習案内

時間　午後6時半～8時半

申し込み　経費を添えて直接勤労青少年ホーム（古町13　☎22―2728）へ　※電話で受け付けしません。初めてホームを利用する人は400円加算

講習		曜日	経費・その他
編み物	手編み（16回コース）	金	9月7日開始 4,000円（16回分）
	機械編み	水	月1,200円
和裁		水	月1,200円
書道（毛筆、ペン、ボールペン）		金	月2,000円
茶道	石州流	金	各月2,000円
	裏千家月曜コース	月	
	〃 木 〃	木	
料理	月曜コース	月	各月3,000円 テキスト代200円
	火 〃	火	
	水 〃	水	
	金 〃	金	